

笑顔あふれるおいしい給食・食べる力をはぐくむ食教育

児童生徒が楽しくおいしい学校給食を通して、食についての正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、心身ともに健康でたくましく育ち、明るく活動的に学校生活を送ることができるよう、学校給食を充実させ、積極的に食に関する教育・指導を推進します。

基本的な施策

- ◇ 安全で安心なおいしい学校給食の提供
- ◇ 食べる力を身につけるための食育の推進
- ◇ 健全で効率的な給食運営の推進

(1) 安全で安心なおいしい学校給食の提供

安全で安心な食材や地場産物を積極的に取り入れながら、魅力ある献立づくりを進めるとともに、給食施設の整備や関係者の研修に努め、「安全で安心なおいしい給食の提供」の実現を目指します。

- ①栄養バランスのとれた献立を基本に、日本の食文化や郷土料理の継承を図りながら、児童・生徒に安全でおいしい給食を提供します。
- ②食物アレルギーのある子どもたちに、給食時間を楽しく過ごせる体制の充実を図ります。
- ③食材の安全性確保からも、地場産食材の活用拡大を図り、地産地消に取り組めます。

(2) 食べる力を身につけるための食育の推進

学校給食を生きた教材として積極的に活用するなど、学校教育活動全体を通した食に関する指導の充実を図るとともに、家庭、地域と連携した取組に努め、「食べる力を身につけるための食育の推進」の実現を目指します。

- ①基本的な生活習慣を身につけるため、「60・15キャンペーン」を粘り強く進めます。
- ②児童生徒が健康の保持増進のため、「何をどう食べればよいのか自ら判断できる能力」＝「食べる力」を身につけるよう、学校給食を家庭と学校の共通の教材として活用し、望ましい食習慣の形成に努めます。
- ③家庭、地域と連携し、和食の良さを見直し、地元食材を活用した季節感のある行事食や伝統料理など食文化の継承・啓発に努めます。
- ④学校における食指導を充実させるため、推進体制の充実に努めます。

(3) 健全で効率的な給食運営の推進

安全で安心な学校給食の提供のため、施設設備の整備、調理場方式の選択、民間活力の導入などを考慮し、また、学校給食費の未納問題解消に向けて取り組み、「健全で効率的な給食運営の推進」の実現を目指します。

- ①学校給食の効率的な運営に向け、給食施設整備計画を検討します。
- ②学校給食費の未納解消に向けた取組を進めます。
- ③児童生徒の環境保全教育の一環として、学校給食に関連した環境負荷の低減につながるさまざまな取組を進めます。

